

Dohoku
Nayoro



2020

No.48

令和2年1月1日

広報



道北なよろ





年頭のご挨拶

代表理事組合長 東野 秀樹

新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様にかかれましては、『令和』の時代に入り初めての穏やかな新年を、家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様にかいては、旧年中に於いても、地域農業振興にご尽力賜ると共に、多岐にわたる農協事業へご支援、ご協力賜りましたことに衷心よりお礼申し上げます。

昨年を省みずと春の融雪が順調で畑の開墾・植え付けもスムーズに作業が進行しました。

しかしながら、その後6月・7月の高温干ばつの影響によって、取り分け大豆を始めとする畑作物に於いては大きな影響を受けてしまい、発芽不良など一部廃耕せざるを得ない状況に陥った作物もありました。

全国各地に起こった人命をも奪うほどの自然災害には、見舞われなかったものの自然の猛威を痛感した一年でありました。

改めて被害を受けられました皆様には、心からお見舞いを申し上げます。次第でございます。

その後収穫時期が近付くにつれて、長雨によって収穫作業の妨げになる面も多々あった訳でありましたが、無事全ての収穫作業を終えて頂くことが出来、農家の皆さんの一年間のご苦労に敬意と感謝を申し上げます。

酪農畜産分野にかいては、着実な成長実績を挙げて頂きましたし、もち米を始めとした水稻にかいては、初期から中期にかけての温暖な気候が追い風となり概ね豊作として頂きましたが、取り分け青果にかいては軒並み収量減となりました。

北海道全体としては、軒並み大豊作でありましたが、上川北部地区にかいては災害レベルの干ばつだったことが伺えます。

農産物の価格にかいては、昨年の青果物に見るような高騰基調とは言える内容ではありませんでしたが、実需の協力は元より農家の

皆さんが長年かけて築き上げてきた品質維持のお陰をもって、厳しいながらも着実に販売することが出来ました。

本年以降にかいても、重点振興作物の作付け減少が懸念される状況にありますが、今後とも責任産地としての役割を果たしていく為に生産部会の皆さんと協力しながら作付け振興に努めて参りますので、ご協力を宜しくお願い致します。

一方、国内外の情勢を見ると、本年5月に『令和』という新しい時代の幕が開き、社会情勢・農業情勢にかいても多くの変化が絶えず間なく起きております。

又、依然としてTPP11、日欧EPA、更には先般の日米貿易協定の締結など多国間の終わりなき貿易交渉が続いており、国民にとっての生命産業である農業も諸外国のターゲットにされております。

農家の皆さんが苦勞をして作りあげた農産物が、再生産出来る適正な価格でしっかり流通できる仕組みや、消費者や子供たちに対しての食育や情報発信など、今まで以上にJA系統組織をあげて消費者や国に向け、絶え間なく働きかけていく必要があると考えております。

そして、未来の後継者たちに魅力的な産業であり続けるために、農協と致しましても農家皆さんの所得向上・地域の活性化に向けて取り組んで参りますので、尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

又、昨年11月の臨時総代会にかいてご承認を賜りました、酪農の哺育育成センターの取得でありましたが、本年春から着工に向けて遅滞なく素晴らしい施設にするべく取り進めて参りますので、引き続きご理解願いますと共に、この事業が円滑に運営出来るよう今後しっかりと酪農家を交えた中で検討して参りますので、併せてご協力のほど宜しくお願い致します。

本年の干支は、庚子(かのえね)の年であり十二支始まりの年にあたり、経済が上向いて、子孫繁栄が期待される年とされております。本年こそは、自然災害のない平穏な一年でありますと共に、組合員皆様の地道な努力が一粒万倍と成りますことと、ご家族皆様のご健康で幸多い一年になりますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。



令和2年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田稔章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい令和2年の新年を迎えられたものと心より、お慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先に道内各地において強風に見舞われ、広範囲にわたり農業被害が発生し、一部時き直しが必要になった地区も発生しました。

その後は干ばつ等もありましたが、天候は順調に推移したことで収穫も進みました。お米の作況指数が104の「やや良」、小麦、てん菜は平年作以上となる結果となり、生乳は良質な飼料作物確保による安定的な生産が見込まれ、作目によって違いはありますが概ね良い出来秋を迎えることができたと感じております。

しかしながら、全国的には8月

末に発生した九州北部豪雨や、9月、10月と東日本を中心に大きな被害をもたらした台風15号、19号など、大規模な災害が発生した年となりました。

北海道においても一昨年、胆振東部地震により多くの支援を頂いた経過にあり、JAグループ北海道として全国連と協力し積極的に支援をして参りたいと考えております。

国際貿易交渉については、昨年2月1日に日EU・EPAが発効となり、日米貿易協定は昨年10月に署名がなされ、国会審議を経て12月4日に承認案が可決されました。日米貿易協定の影響試算では、1、100億円の生産減少額のうち3、4割が北海道への影響とみられており、JAグループ北海道として北海道農業への影響を最小限に食い止める対策や、生産者の不安を払拭することを昨年より国等に対して要請を行っております。今後も動向を注視し、北海道農業

が犠牲とならないよう毅然とした対応を求めてまいります。

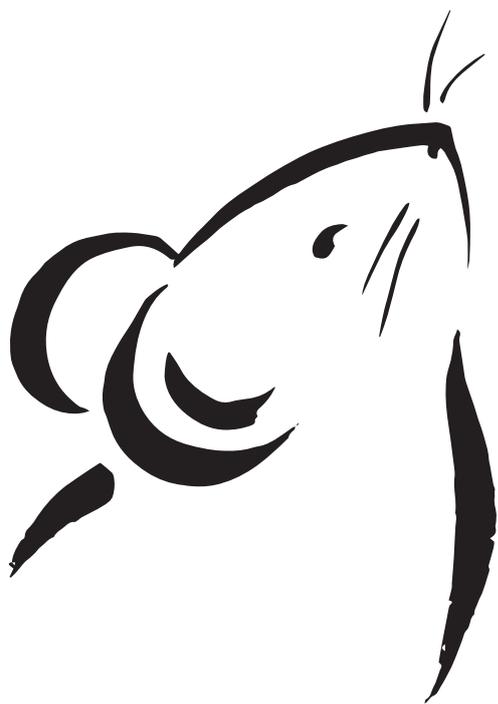
さて、JAグループ北海道は、昨年11月12日に第29回JA北海道大会決議事項の実践事例や現状の課題を、JAグループ全体で共有すること、内外に実践状況を発信すること目的として、JA北海道大会実践フォーラムを開催したところでです。

引き続き、組合員・JA・連合会・中央会が一体となり、大会決議事項の実践に取り組み、基本目

標の達成につなげてまいります。

結びになります。今年の干支は庚子（かのえね）です。子には、「ふえる・しげる」の意味があり、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態だといわれています。

今年はこの庚子年にあやかり、農業にとつて輝かしい未来が芽生く年となること、併せて北海道農業並びに組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。





年頭のご挨拶

青年部 部長 松下 祐司

新年明けましておめでとうございます。
青年部活動におきましては、農協役職員をはじめ各関係機関の皆様には日頃よりご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

昨年の青年部本部活動を振り返りますと、7月14・15日に開催しました婚活事業では多くの部員に参加していただきありがとうございます。事業におきましては6組のカップリングが成立し終えることができました。近年農家戸数の減少が進んでいく中で、後継者対策は非常に重要であり、その中で農業委員会の協力の下開催できたことに大変感謝いたします。ありがとうございます。冬にも同様の事業を計画しており、部員の皆様には是非参加していただきたいと思っています。

各支部の活動がそれぞれある中で、3支部が合同で交流できる場として農民大運動会を開催しました。参加者は部員をはじめ、奥さん子供、農協職員と多くの参加を頂いて交流することができました。そして今回は初めて台湾との交流事業で来ていた

台湾農業青年の方たちにも来ていただき、言葉の壁はあったかもしれませんが、一緒に競技をし、お酒を飲み交わしお互いにすぐに打ち解けて大変有意義な時間を過ごすことができました。

昨年の学習会では、農業をしていくうえで大事な経営についての「クミカンの見える化」を勉強しました。まず自分の家がどういう経営状態なのか理解するために、数字上ではわかりづらい部分もグラフ化することによりわかりやすくなり、分析と次年度に向けて使えることがわかり、事務局と連携して早速活用していきたいと思っています。

自分が就農してからずっと農業は厳しいと言われてきております。日々農業情勢が変わる中でその厳しい時代を乗り越えていくには若い青年部員こそが結束しこれからを切り開いていかねばなりません。そのためにも各関係機関の皆様からはご指導・ご鞭撻をお願いします。

ますますの青年部活動が発展していくことを願いまして新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

女性部 部長 矢吹 祐子

新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃より女性部活動に対しJA・各関係機関・組合員の皆様にはご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年の本部活動を振り返りますと、11月に実施致しました視察研修では小樽での東洋水産・北海道ワイン・小樽種子工場・ガラス工房での吹きガラス体験を行い3支部間の交流を深め、12月4日に開催したJA役員との懇話会では女性ならではの視点からの意見、要望、質問が飛び交い東野組合長をはじめ役職員の方々との交流も深まり貴重でも有意義な時間を過ごせたことに感謝しております。

上川の行事においても7月のJA上川女性部管外役員視察研修(東京・栃木)JA上川地区女性

部研修会(旭川8月・12月)10月のJAグループかみかわ農業祭、11月にはJA北海道女性大会、北海道家の光大会が開催されました。年々、3支部間の交流も深まり世代を超えての繋がりが日々変わる農業情勢の中で女性農業者の生活と心を豊かにしてくれているものだと強く感じております。

また昨年の総代会の際には女性部枠として初めて9名が総代として出席し、様々な意見を聞いて勉強させて頂きました。

最後になりますが、本年も女性部活動に対し関係機関の皆様からのご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。





年頭のご挨拶

名寄市もち米生産組合 組合長 岡元 政美

新年あけましておめでとうござい
ます。日頃より、当組合の活動にお
きまして、各関係機関、組合員の皆
様にはご理解とご協力を頂きまして
誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、4月前半
は気温が低く、融雪が少し遅れまし
たが、5月に入りますと高温多照で
経過し、苗の生育、開墾、田植え作
業と順調に進み、その後も高温多照
の天候が続き干ばつ傾向ではありま
したが、畑作・野菜に比べて被害は
最小で、生育も順調に進みました。
しかし8月から収穫前までの降雨に
より、圃場が乾かず収穫作業が思う
ように進まず、収穫終了は遅延傾向
でした。

作況指数105・収量9・1俵と
なり、組合員のご努力もあり、胴割
れも昨年より軽減され、令和の新し
い年に、幸先の良いスタートが切れ
たと思います。

「名寄市もち組合 本部一本化」に
ついてですが、平成19年度に風連良
質米生産組合と名寄市モチ生産組合
が合併し名寄市もち米生産組合が誕
生しましたが、現状未だに予算や事

業計画などを支部単位にて行ってお
ります。組合員の減少やもち米の主
産地として、良品質米の均一化と、
良質米を安定供給する為、今年度を
めどに予算と事業計画の一本化を進
めさせていただきますのでご理解と
ご協力をお願いします。

近年、国内における人口の減少や
少子高齢化、そして多様化する食文
化等々もあり、もち米を含む米離れ
や消費の落ち込みが進んでいます。
特に米離れは、若い世代に顕著で、
20歳代男性2割、女性の1割が米を
食べていない、と出ている統計もあ
ります。また昨年の道外視察研修で
実需者に米離れを問われ、生産者と
して対応を迫られる場面に直面する
かもしれない、と強く感じました
最後になります、今後とも一層
のご支援ご指導をよろしくお願い申
し上げ、又、皆様のご健勝とご豊穰
の秋を迎えられますことをご祈念申
します。



年頭のご挨拶

コーン菜組合 組合長 武田 修一

新年明けましておめでとうござい
ます。

組合員の皆様におかれましては、
新年を迎えられ謹んで新年のお慶び
申し上げます。

日頃より当組合活動に對しまして、
各関係機関、組合員の皆様方にはご
理解とご協力を賜りまして厚く御礼
申し上げます。

昨年の作柄を振り返りますと、春
先から天候にも恵まれ雪解けも順調
に進み、4月下旬頃より播種定植と
もに順調に進んでおり遅霜も一部で
見られたものの大きな被害もなく生
育も進んでおりましたが5月中旬か
ら7月下旬にかけて、まとまった降雨
が全くなく定植後の生育は干ばつの
影響を受け停滞し、スイートコーン
においては生育の遅れから出荷に向
け不安の残る状況となりました。

その様な中、組合員皆様方には灌
水等管理に努力され出荷は、ハウス
では7月上旬より、露地については
昨年より1週間以上早い7月23日か
ら収穫が始まり道外市場への出荷を
開始することが出来ました、規格に
ついては干ばつの影響が心配されし、

Mが中心と予想されましたが2L率
も6割を超えまずまずの収量を確保
できました。今後さらに、全道の主
産地に負けない、なよろイエロー、
なよろホワイトの産地ブランド化を
作り上げるため、コーン菜組合、関
係機関一丸となり、試験研究を進め
更なる生産の安定品質の向上を目指
し取り進めて参りますので、組合員
皆様方には益々ご協力いただきます
ようお願い申し上げます。

近年農業を巡る情勢は、気象の変
化や国際情勢の不安定化、高齢化に
伴う農業人口の減少など様々な問題
となっており、一方では若い後
継者や、新規就農者などが増えつつ
あることはこれからの地域の担い手と
して明るい兆しとなると思います。

当組合でも農業経営を担う重点作
物として、さらに多くの生産者に作
付して頂ける様、努力して参ります。
最後になります、今後ともより
一層のご支援ご指導を賜りますよう
お願い申し上げます。皆様のご健勝と豊
穰の秋を迎えられますことをご祈念
申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

食用馬鈴薯生産部会 部会長 木之内 薫

薫

新年明けましておめでとうございます。日頃より、当部会の活動におきまして各関係機関部会の皆様には、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年、平成から令和へと年号が変わりましたが、馬鈴薯については大変厳しい年となりました。振り返ってみますと春作業は順調に進みましたが、5月中旬からの干ばつによる発芽の不揃い、植え付けの遅れた畑はかなりのばらつきが見られました。異常な干ばつにより培土作業も苦労した年でした。又、水分不足ということもあり、なり芋がかなり少なく、その分大玉傾向となり、結果的に減収となつてしまいました。

11月に道外視察に行つてきましたが、各市場で全道的に大玉傾向にあり、大産地では豊作ということもあり、販売には大変苦労されているそうです。道南の産地では、秋の温度上昇により発芽がみられ、かなり販売はむずかしいとも言っ

ていました。

幸い、当地区では発芽はなく有利販売に繋げてほしい所です。本年は昨年の反省点、キタカムイの品種特性について、初心に戻って講習会などで周知したいと考えています。

最後に、近年の異常気象や農業人口の減少・高齢化等は問題ではありませんが、皆様のご健勝と豊稔の秋を迎えることを心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



新年の挨拶

上川農業改良普及センター名寄支所

支所長 伊與田 竜

竜

新年あけましておめでとうございます。令和2年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より農業改良普及事業へのご理解とご協力を頂いていることに對し、心より感謝申し上げます。

昨年の気象・農作物の経過は、まず4月15日に平年より1日遅く融雪期となりました。その後4月より7月下旬まで降水量が少なく、多くの作物で発芽不良、生育不良の要因となった他、大豆では出芽不良による廃耕が50haを超え大きな被害となりました。

5月中旬下旬が記録的な高温となり、小雨による各作物への影響が助長されるとともに水稲の早期出穂の要因となりました。

その後7月下旬から9月下旬まで断続的な降雨があり、各作物の収穫作業への影響が危惧されましたが、効率的な管理・収穫作業の実施により影響は最小限に抑えられました。

水稲の収量は平年よりやや多く、品質は胴割粒が少なく、青未熟粒、未ハゼ粒がやや多くなりました。

秋まき小麦は穂数が平年を上回りましたが、1穗粒数が少なく、千粒重も軽かったため収量は平年並みとなりました。ばれいしよは1個重が重かったことにより収量は平年を上回りました。

大豆は百粒重が平年を上回り、有効莢数が確保されたことから収量は平年を上回りました。一方、発芽不良により生育

が不揃いとなったほ場では、莢数が少なく未熟粒も多い傾向となりました。

野菜では、小雨の影響によりアスパラ、タマネギが低収となり、かぼちゃ、スイートコーンでは早期収穫作型で低収でしたが、その後、平年並みの収量となりました。

飼料作物ではサイレージ用とうもろこしがやや多収となりましたが、牧草は1番草、2番草ともに低収となりました。

令和元年度の作柄は、概ね平年並からやや多い傾向となったものの、7月までの小雨の影響が強かった作物では低収となりました。

結果として今年度も基本技術である融雪促進、土づくり(透排水性改善、土壌診断による適正施肥、輪作の励行)や適期作業の重要性が再認識される年となりました。皆様の日頃からの営農努力に改めて敬意を表すところであります。

普及センターは、地域にある課題解決のため、職員の知恵と行動力を結集し関係機関と連携しながら諸課題に取り組む所存ですので、皆様の一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、豊稔の秋を迎えることができるよう心よりご祈念申し上げます、念頭のご挨拶といたします。

謹賀新年

令和二年元旦

道北なよろ農業協同組合

代表理事組合長	東野秀樹	理事(管農)	鷺見悦朗
代表理事専務	村上清	理事(購買)	大久保裕司
常務理事	野崎芳裕	理事(管農)	山家智彦
会長理事	中島道昭	代表監事	金子孝雄
総務委員長	清水清隆	常勤監事	坂本悟
管農委員長	小川和則	監事	五十嵐真吾
購買委員長	中村耕司	監事	永井健一
理事(購買)	米澤俊一		
理事(総務)	山崎一浩		
理事(管農)	伊東浩次		
理事(総務)	宗万利行		
理事(購買)	小泉博志		
理事(管農)	尾崎正和		



道北なよろ農業協同組合

参事 中村静男

総務部長 米村敏明
兼監査室長

金融共済部長 齊藤宏治

管農部長 又村明仁

販売部長 石山健一

購買部長 佐藤昌規

販売部次長 奥山克志
兼管農センター長

名寄支所長 安達秀一

智恵文支所長 野原格子

△本所▽

総務課長 林龍一
兼総合企画課長

審査課長 中山勝憲

金融課長 佐々木拓也

共済課長 多田義明

管農課長 井上誠

農産課長 遠藤政文

購買課長 仁木康裕

燃料課長 酒井浩

農機車輛課長 舟山利昭

△管農センター▽

管農課長 高橋邦彦

青果課長 藤原武憲
兼管業戦略課長

畜産課長 齋藤祐次

△名寄支所▽

金融共済課長 藤原雄一

購買課長 吉田敬志

△智恵文支所▽

金融共済課長 高岩諭

購買課長 秋葉哲哉





令和二年元旦

JA道北なよろ青年部

部長 松下 祐司
副部長 佐藤 昭浩
佐藤 拓也

JA道北なよろ青年部 風連支部

部長 日野 野康
副部長 安達 治明

名寄支部

部長 清水 拓馬
副部長 久保 隆文
阿部 清

智恵文支部

部長 遠藤 裕寛
副部長 北野 介

JA道北なよろ女性部

部長 矢吹 祐子
副部長 阿部 まゆみ
岩崎 真奈美

JA道北なよろ女性部 風連支部

部長 阿部 まゆみ
副部長 日根野 美沙子

名寄支部

部長 矢吹 祐子
副部長 阿部 貴代美
副部長 宗万 広美

智恵文支部

部長 岩崎 真奈美
副部長 山本 早苗

JA道北なよろ女性部 名寄支部ひまわり

代表 山本 紗織
副代表 花井 末永光

JA道北なよろ女性部 智恵文支部六花の会

代表 藤森 梨紗
副代表 南原 穂

虹の会

会長 中野 寿子
副会長 中村 洋子

グリーンアスパラ部会

部長 水上 将治
副部長 藤森 武夫
佐々木 武夫

南瓜部会

部長 桶谷 政進
副部長 南原 裕二
竹部 幸

葉菜部会

部長 大石 一貴
副部長 夏井 光明

百合根部会

部長 奥山 茂雄
副部長 広島 俊一

玉葱部会

部長 寺田 勝利
副部長 橋本 弘利

コーン菜組合

部長 武田 修一
副部長 清水 拓馬

花き生産組合

部長 阿部 和浩
副部長 越智 昭男

西瓜・苺・メロン部会

部長 佐竹 直人
副部長 佐藤 洋

ピーマン部会

部長 我妻 昌幸
副部長 富田 龍一

トマト部会

部長 斉藤 寛
副部長 山家 智彦

ピヤシリアスパラ研究会

部長 遠藤 俊博
副部長 佐久間 博之

なよろ星空雪見法蓮草生産組合

部長 神田 勇一郎
副部長 金子 孝雄

食用馬鈴薯生産部会

部長 木之内 薫
副部長 東田 和也

加工馬鈴薯部会

部長 佐藤 幸一
副部長 松下 祐司

智恵文種馬鈴薯部会

部長 山本 恵
副部長 遠藤 貴広

コーン・馬鈴薯機械利用組合

部長 遠藤 貴広
副部長 山田 和邦

名寄市乳牛検定組合

部長 池田 大介
副部長 平間 大介

JA道北なよろ 外国人技能実習生受入協議会

会長 柴崎 富雄
副会長 山本 恵

名寄市もち米生産組合

部長 岡元 政美
副部長 市川 友和

風連支部

部長 及川 友和
副部長 桶谷 圭太
書記長 横山 圭太

名寄支部

部長 岡元 政美
副部長 市本 豊幸
東海 伸演

うるち米生産組合

部長 今村 芳彦
副部長 安達 啓治

JA道北なよろ酪農部会

部長 植西 陽一
副部長 大村 一秋
池田 大介

JA道北なよろ畜肉部会

部長 飛騨野 正治
副部長 鈴木 正

道北なよろ酪農ヘルパー利用組合

部長 水間 博文
副部長 渡辺 孝

風連町酪農振興会

会長 佐藤 文博
副会長 黒嶋 和幸

風連馬事振興会

会長 渡辺 吉晴
副会長 山崎 吉

JA道北なよろ利用者年金友の会

会長 安達 住義
副会長 桶谷 繁志
柴田 幹造

JA道北なよろ智恵文支所年金友の会

会長 五十嵐 勝
副会長 木之内 與
副会長 伊東 和江
副会長 鷺田 るり子

風連町農業家屋火災共済組合

委員長 遊佐 俊充
委員長代理 堀江 英一

風連町農業青色申告会

会長 山田 敏之
副会長 日野 勇一
石谷 邦明

名寄市農業青色申告会

会長 宗万 利行
副会長 市本 豊幸
事務局長 永井 健一

風連町農民連盟

委員長 佐藤 政昭
副委員長 越智 昭男
書記長 本瀬 克博
書記次長 岡田 裕樹

名寄農民連盟

委員長 東海 伸演
副委員長 林哲 央
書記長 花井 信雄
書記次長 斉藤 広剛

智恵文農民連盟

委員長 菊地 守守
副委員長 松下 守
書記長 藤森 将久
書記次長 島井 勝久

風連町農民連盟青年部

委員長 杉野 大敦
副委員長 武田 久文
書記長 川原 明

名寄地域ICT農業研究会

会長 清水 功裕
副会長 藤森 将人
佐竹 直人



表紙の人

今号の表紙は、名寄市風連町日進地区で農業を営んでいる平澤宏幸さん一家です。

宏幸さんは青年部本部で監事を務めるなど、風連地区の農業者の担い手として活躍されています。

(家族構成)

本人 宏幸さん
妻 匠子さん
長男 恒太(こうた)くん
長女 ひよりちゃん

主な作付

水稲・スイートコーン・アスパラ





第一回 臨時総代会開催される

令和元年11月8日に第1回臨時総代会が開催された。議案は第4次地域農業振興計画・第4次中期経営計画の1部変更について承認を願った。

過重労働や労働力不足などにより、乳生産量の減少が懸念されている現状にあり酪農家からは哺育育成センター設置の要望を受けていた。そこで、個々の酪農家で乳牛の育成作業を削減して搾乳に専念してもらい、労働負担を軽減させるとともに、飼養頭数の増加や生乳生産量の増加を図るため、哺育育成センターの設立を決めた。

場所は名寄市朝日に開設。酪農家19戸が参画し預託頭数は約800頭の規模が



予想される。哺育育成センターでは、生後3日の乳牛を預かり生育し受精する、生後21か月で酪農家に返し、各戸で出産。生後間もない乳牛を再び預かり育成するというサイクルを繰り返す。乳牛の育成には専門的な技術や知識が必要なため、運営には農協の子会社を設立。子会社には育成作業専門の職員をはじめ、農協から職員を出向させ監督指揮をする。概算事業費は13億9547万円。完成予定日は2021年3月を予定しており、畜産クラスター事業（国費事業）を活用するとともに名寄市にも支援要請を行っている。子会社設立には第15回総代会で承認を願う。

学校給食農産品寄贈

12月3日 名寄市の子供たちに地元農産物をたくさん食べ、味を舌で覚えてほしいと、名寄市教育委員会に給食食材を寄贈した。寄贈品はジャガイモ300kg・タマネギ300kg・もち米160kg

市学校給食センターでは教職員を含めて1日約2,200食を調理しています。寄贈品のジャガイモ・タマネギは150kgずつを使いハヤシライスとカレーライスとして、もち米は令和2年3月に卒業祝いの赤飯として提供します。令和元年を機に地元食材の寄贈を継続していきたいと考えています。



2019地産地消フェアinなよろ

11月9日、2019地産地消フェアinなよろが名寄市民文化センターで開催され、多くの名寄市民が来場し賑わいました。

会場では様々なイベントが催され、名寄市の基幹産業である農業や、大きく注目を集める地産地消に対する理解を深めました。販売コーナーではJA道北なよろ青果課による新鮮な農産物やそれらを加工した商品が販売されたほか、牛乳・牛肉・豚肉の特別価格限定販売、JA道北なよろ女性部により赤飯販売、第746なよろ煮込みジンギスカンによるご当地グルメ「なよろ煮込みジンギスカン」



販売、名寄地区手打ちそば愛好会によるそば打ち実演と販売も人気を集めました。

カルビー食育チームによるじゃがいもクイズが開催され、参加者にはカルビー商品がプレゼントされました。また、名女連による山菜おこわの試食が行われるなど地産地消の推進に繋がりました。イベントの最後には、なよろもち大使による「こどももちつき」が開催され、参加したこどもたちにはJA女性部が作る「きなこもち」がプレゼントとして手渡されるなど、盛況のうちに終了しました。



令和元年度 上川地区JA青年部大会開催

11月14日、旭川トイヨーホテルにて令和元年度上川地区JA青年部大会が開催され、当青年部より13名参加しました。

・「動画で発信！農の魅力」コンテスト(1分間CMコンクール)

CM作成を担当した風連支部のCM(作成・山崎克氏)を選出。JA上川地区青年部協議会作成のCMを除く13作品の中から最優秀作品1点のみが全道大会に選出され、最優秀作品はJAひがしかわ青年部作成のCMが選出されました。



・アームレスリング大会

上川地区の13JAから1名ずつが出場し、JA道北なよろ青年部からは、名寄支部の阿部清氏が出場。1回戦目に惜しくもJA北はるか青年部の部員に敗れました。

・純農Boy上川オーディション

上川地区の13JAから1名ずつが出場し、JA道北なよろ青年部からは智恵文支部の松下達哉氏が出場。特技の一輪車を披露し、会場を盛り上げましたが、惜しくも最優秀賞はJAふらの青年部の部員が選出されました。



JA道北なよろ青年部

学習会兼収穫祭

11月15日、JA道北なよろ営農センターで学習会兼収穫祭が開催されました。

学習会では講師に十勝農業試験場の平石学様を迎え、学習会を行いました。今回は「クミカンの見える化について」をテーマに、経営管理・営農計画について学習しました。

収穫祭では青年部員と農協職員



合わせて34名が参加しました。

JA道北なよろ青年部長の松下祐司氏の挨拶で始まり、上川地区青年部大会にて上映されました「1分間CM」の上映や余興などが行われました。

会場ではオードブルやお寿司などの料理が並び、楽しい一時を過ごしました。



JA北海道女性リーダー研修会 北海道家の光大会に参加して

智恵文支部 山本 早苗

11月7日～8日シャトレレーゼガトーキングダムサップポロにて、リーダー研修、家の光大会が開催されました。

道内JA女性部550名が参集しました。

受付を済ませ昼食をとり13時45分より開会式が始まり、大会の幕開けとなりました。

主催者挨拶、来賓挨拶等のあと、14時15分から15時45分まで講演が行われました。

内容は演題「学ぼう・地域でとりくもうSDGs」

講師 日本協同組合連携機構主任研究員文珠（もんじゅ）正也氏でした。

まず「SDGs」とはエス（S）ディー（D）・ジーズ（Gs）

Sustainable
持続可能な

Development
開発

Goals
目標

このままでは、地球も人類も今までのように暮らしてはいけないうから破綻しない（持続可能）よ

うに人としての暮らしと経済と環境のバランスを上手にとつて、未来を創る（開発）ために全世界で決めた行動計画の目標で2015年国連で決定され、17の目標がかかげられています、全目標をクリアするのはなかなか難しいとのこと。

講演内容も、なかなか興味深く眠気が起きることもなく聞き入っていました。その後は家の光記事活用体験発表が行われ6名の部員が発表しました。6名共すばらしい発表で「家の光」という本はすぐく身近なものだという事に気づかされ、早速事務局に「家の光」を購読したいとお願いしました。

成績発表は次の日となり、17時45分1日目を閉会しました。18時30分より全体懇親会が行われ1テーブル9～10人でそれぞれ名刺交換をして、親睦を深めました。

私のテーブルは上川地区の集まりになり比布、東神楽等の方でした。

年齢が近い方が多く皆さん元気な方ばかりで私の目からはけっこう飲んでいる様に見えました、ア

トラクションも各地区工夫をこらし大変楽しむことが出来ました。カラオケも本格的な方もいて、おひねりももらっていました。そうこうしているうちに懇親会も終了し1日目が終わりました。2日目、朝食も地区ごとに時間が決められており会場内も混雑することなくスムーズでした。

9時 2日目開会、家の光持ち寄り読書では2名の方が朗読しました。次に体験発表の審査結果・・・みごと最優秀賞は、留萌地区代表の方になりました。

すばらしい発表だったため2日目でも内容が浮かんできました。

今年は手づくり工夫展と題して、各地区の部員の手作り作品が展示され、作品を皆が見られる時間をもうけ、気に入った作品があれば作り手の方と連絡を取り、譲ってもらう事も出来ますとのことでした。

11時15分閉会式
2日間もあつという間に終わり昼食をいただき解散となりました。14時10分札幌駅出発、名寄に無事到着しました。

私は初参加で家を空けるという事がなく色々な事が不安な出発でした。

私の他に事務局、矢吹さん、岩崎さん、阿部さん、菊地さんの6名の参加でした。みなさん気さくな方ばかりで安心しました。全てが新鮮でそれと同時に女性のパワーはすごいなとつくづく感じさせられ、私もまだまだ頑張らなくてはいけないと気をふるい立たされました。

また「家の光」を1日も早く読んでみたいと強く思いました。

この大会に参加して本当に良かったですし、また来年も参加したいと思えます、部員の皆さん家の光大会にぜひ参加してみてください。



JA道北なよろ女性部視察研修に参加して

名寄支部 中村 洋子

JA道北なよろ女性部の研修旅行が、11月18、19日の両日小樽市にて26名の部員が参加して実施されました。

1日目は、マルチャンの愛称で知られる、東洋水産北海道工場を見学。同社の安全、安心のこだわりの説明に耳を傾け、店頭でよく目にする「焼そば弁当」即席めん、生めん、商品が出来上がるまでの工程を見せて頂きました。お土産もプレゼントされ、CMから貴社の時の流れを感じることも出来ました。

その後、昼食を頂き、創造硝子工房Studioj-45に移動。グラス又は一輪差カビンのどちらかを選択し息を吹きかけ、細かやかな手さばきで、楽しい体験をいたしました。後日送られてくる作品が待ち遠しいものです。

1日目のスケジュールも終え、ホテル武蔵亭に到着。温泉と料理長自慢の夕食を満喫することが出来ました。二次会では各支部の皆さんと、コップ、マイクを片手に触れ合い、語り合い笑いの絶えない有効な時間を過ごすことも出来ました。

2日目は、ホテルを後に北海道ワインを視察。ここでは各種ワインの

試飲に酔いしれましたが、それ以上に説明して下さった女性の話術にすっかり酔いしれ、たくさんのお土産を買う姿が見受けられました。

昼食は小樽の街並みを自由散策。与えられた時間を有効にランチ、買い物を楽しみました。午後からはホクレン種子工場を視察。飼料作物種子について説明を聞き、工場の特徴や機械作業の流れを見せて頂き、徹底した商品管理を理解することが出来ました。

無事研修を終え、この日のために時間を費やしてくださった事務局さん、役員さん、川原観光の運転手さんには心から感謝いたします。

最後に、道北なよろ女性部が一層活性化されます事を願いつつ視察研修の報告とさせていただきます。



11月23日「赤飯の日」イベント

11月23日、名寄市のよろーにて、赤飯の日イベントが行われました。

もち米の消費拡大の一環として、赤飯文化啓発協会が推進する「お赤飯の日」を産地においても広く啓蒙普及させる為、名寄市もち米生産組合の事業として今年で8年目を迎えます。

当日のイベントでは「名寄市のもち米ができるまで」のDVDを視聴していただいた来場者の方々にもち米の無料配布を実施しました。また、当日はミス北海道米もイベントに参加し、たくさんの方々が会場に訪れ、大変な賑わいを見せておりました。

JA女性部とJA役職員との懇話会

12月4日、本所にてJA女性部とJA役職員との懇話会が行われました。各支部の女性部員12名と組合長はじめJA役職員14名が集い、身近な疑問・災害時の対応・出荷施設へのご意見・女性部の存続等、多様な意見交換が行われました。東野組合長より、女性部活動をより有意義なものにしてほし



いと激励され、女性部員からは哺育育成センター設立についての質問が多く、販売部 石山部長より説明を行いました。引き続き名寄へ会場を移し、懇親会を開催。大変貴重で有意義な1日となりました。



令和元年度 外国人技能実習生修了式

10月28日、智恵文多目的研修センターにて令和元年度外国人技能実習生修了式が行われました。48名の実習生が修了式を迎え、実習生は4月から7か月間の農業実習を終え、10月30日に帰国しました。また、農業知識・技術を学びながら日本語の勉強や文化、地域との交流を行ってきました。



修了式では、JA道北なよろ東野代表理事組合長・名寄市加藤剛士市長・外国人技能実習生受入協議会 柴崎富雄会長の順であり、さつその後、実習生を代表して刘华伟(リュウ ホアウェイ)氏が、実習の感想を日本語で発表しました。



道外視察 (11月11日～12日) 食用馬鈴薯生産部会

(部会長：木之内 薫)

東京シテイ青果

春からの相場推移として、九州産の切上りが早く6月の道内早出しは高値で推移したが、8月以降の道内本格出荷が始まると各産地とも豊作基調で極端な安値となった。

10月の台風の影響で出荷が乱れたことで一時在庫が無くなったが11月に入り通常通りとなった。

他産地の傾向として、干ばつの影響なのか芽が動いている物が多く見られクレームが多く発生しているとのことでした。

当産地の馬鈴薯は、今のところクレームもなく販売しやすいとのことなので今後より一層の販売強化をお願いしました。

水戸中央青果

他市場同様、本年度の販売に関しては一般野菜もあわせて苦戦している状況とのこと。馬鈴薯に関しては、J A士幌がメインの入荷で本年度は非常に豊作基調で来年の5月頃まで出荷が見込まれるとのこと。他産地も豊作で在庫を持ちながらの販売となっている。水戸市場に入荷している馬鈴薯につ

いては、今のところ品質的なクレーム等は無いものの、今後の相場展開含め早めの出荷をお願いされた。

道外視察 (11月5日～7日)

玉ねぎ部会

(部会長：寺田 勝利)

水戸中央青果 東京多摩青果

本年については、全道的な豊作により、入荷は順調に入っているが販売額は、前年の80%程になっている様。

玉サイズもL大が50%以上と大玉傾向で、当産地のL中心の出荷は販売しやすいようで、今後もL、Mも出荷をしてほしいと言うことではあるが、価格にはなかなか反映されていない。

品質面については、腐れ等はないが、もう一皮むけていると見た目が良く販売しやすいとの事であった。

道外視察 (12月9日～11日)

コーン菜部会

(部会長：武田 修一)

大阪南部合同青果

関西市場は本年5社の出荷となっており、その中でも南部合同青果については、唯一地方卸売市場として実績を

残している市場であり今後も中央市場に負けない販売対応をお願いしてききました。

ホクレン名古屋支店 中京地区市場協議会

中京地区が高単価で推移した背景には、道内産のスイートコーンの主産地である富良野産の出荷が皆無になった事で、道内産の出荷が名寄のみとなり、本年結果を出さなければ次年度は道内産が無くなる危機感を持ち、市場・仲卸一体となって販売努力をして頂いた経緯となっております。

各中京市場からは、ほぼ毎日出荷があり安心して販売ができた多くのお客さんに喜んでもらえたとの事でした。

高単価だったのは、品質はもちろんの事だが継続出荷が一番の要因であり、次年度については更に出荷数量の増をお願いしたいとの要望が各市場からありました。

スイートコーン部会としては、品種構成等の問題もあるが継続出荷できるよう、生産者に協力を得ながら品種構成及び作付体系を考えていきたいと述べ協議会終了となりました。

道外視察 (11月18日～20日) 花き生産組合

(組合長：阿部 和造)

・第一花き

サンダーソニア・デルフィニウムについては扱い数量増加している市場。単価も上位に位置する。次年度も同単価以上の依頼をしてきた。ユリの価格が平均より下回っていたため、一段上での単価依頼をし、またトルコについても次年度販売してほしいとお願いしてきた。

・姫路生花

取扱数量も多く単価も安定している市場であるが、今年度輸送会社が変わったため運賃が高く、下位等級の単価は低かったため厳しい旨を話してきた。トルコとユリを主に販売してもらっているが、現在トルコもユリも品種がバラバラで売りにくい部分もあるので、部会として全員が何か一つ統一した品種を作付した方が販売しやすいし、単価も上がるとの話しを頂いたので対応していきたいと話した。



理事会の経過

第九回理事会

開催日 十月二十三日

一、出資金持分譲渡の申出について
提案通り決定

二、職員就業規則及び準職員就業規則の一部改正について
提案通り決定

三、固定資産の取得について
提案通り決定

四、第四次地域農業振興計画・第四次中期経営計画の変更について
提案通り決定

五、第一回臨時総代会の開催について
提案通り決定

六、第一回臨時総代会参考書類(議案の概要)の記載事項について
提案通り決定

七、議決権行使書面の行使権限及び行使にあたっての留意事項について
提案通り決定

八、組合と理事との契約(貸付)について
提案通り決定

九、令和元年度経営所得安定対策に係る仮渡金対応について
提案通り決定

提案通り決定
十、令和元年度産小麦・そば・なたねの数量払い交付申請について
提案通り決定
十一、名寄市への農業振興施策に対する要請について
提案通り決定

協議事項

一、哺育育成センターの建設について
提案通り決定

第十回理事会

開催日 十一月二十九日

一、購買事業規程の一部改正について
提案通り決定

二、準職員就業規則の一部改正について
提案通り決定

三、子会社設立に係る商号について
提案通り決定

四、組合と理事との契約(貸付)について
提案通り決定

五、酪農経営災害緊急支援対策事業に係るリース資産の取得について
提案通り決定

六、令和二年度営農計画書の策定

提案通り決定
七、理事との業務委託契約について
提案通り決定

協議事項

一、哺育育成センターの建設について
提案通り決定

JAのあゆみ

- 10月17日・・・第7回営農委員会
- 23日・・・第6回総務委員会
- 23日・・・第9回定例理事会
- 24日・・・第4回購買委員会
- 28日～29日
・・・地区別懇談会
- 10月31日・・・棚卸監査
- 11月8日・・・第1回臨時総代会
- 19日～21日
・・・第3・四半期定例監査
- 22日・・・第8回営農委員会
- 25日・・・第7回総務委員会
- 27日～29日
・・・みのり監査法人期中監査
- 29日・・・第10回定例理事会
- 30日・・・棚卸監査



～名寄市農業振興センターからのお知らせ～

令和元年度 名寄市農業振興センター事業報告について

○秋まき小麦肥料試験【新規】

秋まき小麦の多収および省力化を目指し、ポイントショットやDd肥料を用いた肥料試験を行いました。

品種:「きたほなみ」 播種:2018年9月14日 播種量:6～7kg/10a 収穫(坪刈り):2019年7月17日

【収量結果】

※数値はすべて10aあたり

試験区	基肥	起生期	幼形期	止葉期	収量	肥料総額
①慣行区 (対照区)	BB532 N: 4kg	硫安 N: 6kg	硫安 N: 4kg	硫安 N: 4kg	716kg	5,447円
②ポイント ショット区	BB532 N: 4kg	ポイントショット N: 6kg	硫安 N: 4kg	硫安 N: 4kg	775kg	7,147円
③追肥Dd区	BB532 N: 4kg	硫安 N: 6kg	DdNP73 N: 8kg	なし	754kg	6,826円
④基肥・ 追肥Dd区	Dd708 N: 12kg	なし	DdNP73 N: 8kg	なし	728kg	9,162円



収穫期の秋まき小麦のようす
(7月19日撮影)

○大豆新品種の適用性試験【新規】

大豆新品種「とよまどか(十育258号)」の当地における適応性の試験を行いました。

品種:「ユキホマレ(対照)」および「とよまどか(十育258号)」

播種:5月14日 収穫(坪刈り):9月27日

【収量結果】

①ユキホマレ(対照) ②とよまどか

収量:419 kg/10a 収量:464 kg/10a (対照比111%)

着莢数:39.4 莢/株 着莢数:48.2 莢/株 (対照比122%)

百粒重:28.4 g 百粒重:26.8 g (対照比95%)

⇒坪刈り、単年の結果ですが、「とよまどか」が収量と着莢数で「ユキホマレ」を上回る結果となりました。次年度以降も継続して試験を行い、当地における適応性を確かめるためデータ蓄積していく予定です。



収穫期の「とよまどか」のようす
(9月26日撮影)

○冬期野菜の無加温栽培(6年目)

冬期の農業収入確保として、パイプハウスを活用し、ホウレン草、小松菜の無加温栽培による検証を行っています。予備試験的にチンゲン菜、非結球レタス、わさび菜、カラシナの栽培も実施しております。

他にも、上川農業試験場と連携した水稻、春小麦の奨励品種決定試験や、グリーンアスパラ、南瓜の品種比較試験、水稻とスイートコーンの試作銘柄肥料の試験などを実施いたしました。ご興味のある方はお問い合わせください。



チンゲンサイ



わさび菜



カラシナ

令和2年度の主な実施予定試験について (一部抜粋)

【継 続】

水稻：疎植栽培試験・JA独自銘柄肥料による栽培試験、秋小麦：肥料試験、大豆：品種比較試験、南瓜：品種比較試験、スイートコーン：JA独自銘柄肥料による栽培試験、グリーンアスパラガス：品種比較試験・栽植密度試験 等

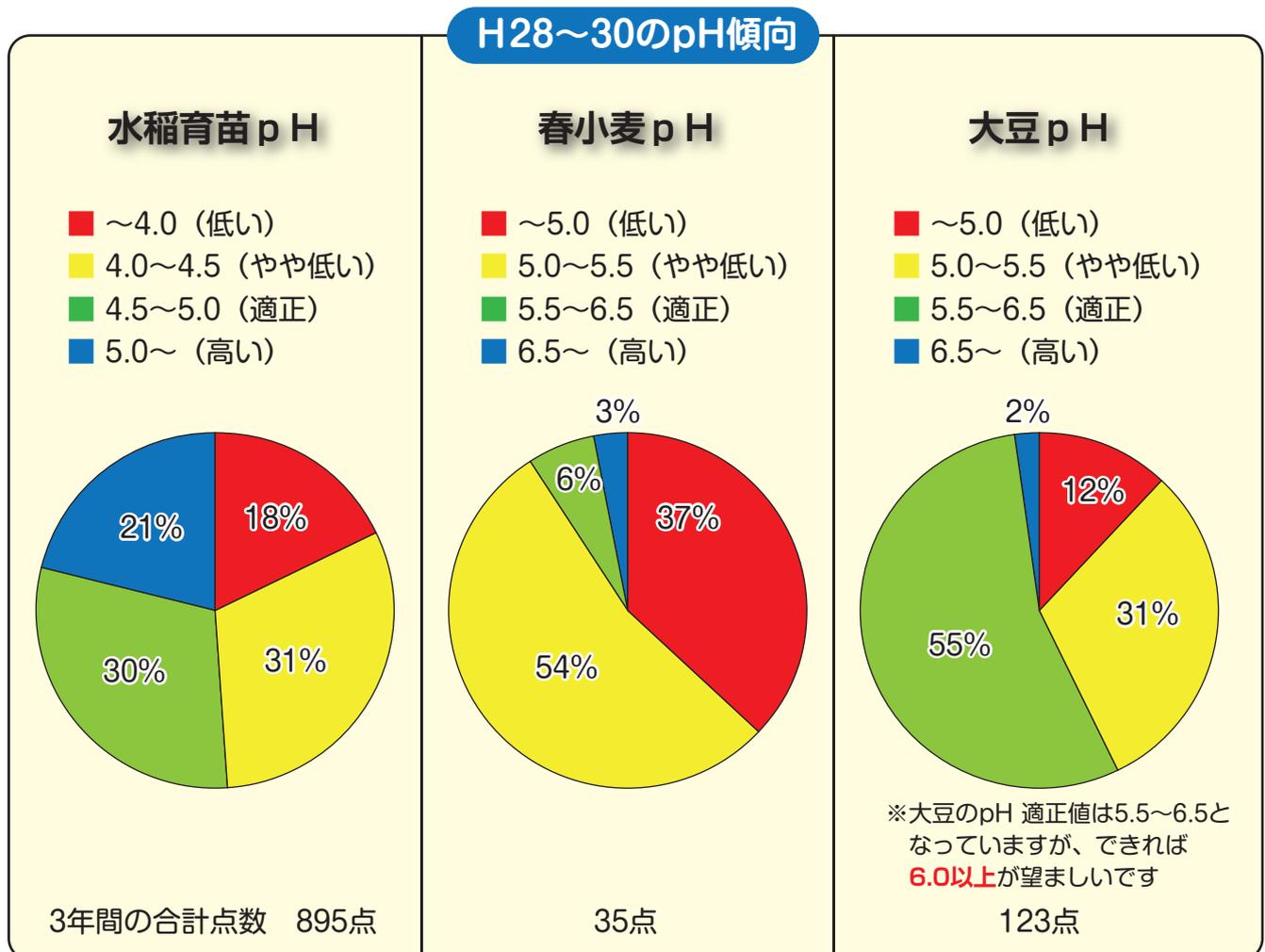
【新 規】

加工用園芸作物の試験：トマト、ブロッコリー等の当地域への適応性試験 等

土壌診断値の傾向について～土壌診断室より～

融雪後に土壌改良を急ぐ必要のある作物（水稻育苗・春小麦・大豆）のpH傾向（H28～30データより）

作物の収量制限要因となる低pH圃場が、特に水稻育苗で増加しています。低pHは根の生育などに大きな影響を及ぼすことから、pHを適正值内に矯正する事が良好な生育と多収を得るための基礎となります。



定期的な土壌診断を行い、低pHの時は石灰質資材の投入などで改良して下さい！！

土壌分析・堆肥分析手数料の改正のお知らせ

令和元年10月1日から、消費税率が10%に改正されたことに伴い、土壌分析・堆肥分析の手数料につきましても、令和2年4月1日受付分より、以下のとおり改正させていただきます。

土壌分析手数料（一点あたり）

※令和2年4月日から

分析種類	分析項目	分析手数料	
		改正前	⇒ 改正後
		〔令和2年 3月31日 まで〕	〔令和2年 4月1日 から〕
簡易分析	pH・EC	51円	⇒ 52円
一般分析	pH・EC・CEC・石灰・苦土・加里・りん酸・りん酸吸収係数	515円	⇒ 524円
窒素分析	可級態窒素・硝酸態窒素	822円	⇒ 838円
総合分析	pH・EC・CEC・石灰・苦土・加里・りん酸・りん酸吸収係・可級態窒素・硝酸態窒素・ホウ素・銅・マンガン・遊離酸化鉄	1,852円	⇒ 1,886円
堆肥分析 (依頼)	pH・EC・全窒素・全炭素・CN比	1,029円	⇒ 1,048円
その他	名寄市内の農業者等の団体がイエスクリーン等に関し窒素分析を含む一般分析を5戸異常もしくは10点以上をする場合	1,029円	⇒ 1,048円

※上記手数料の算出時に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てて精算させていただきます。

※名寄市民以外からの依頼は上記と別料金です。

※分析に要する日数（受付状況により変動する事があります）

- ・簡易分析 ～その日に結果が出ます
- ・一般分析 ～1週間から10日程度
- ・窒素分析 ～1週間から10日程度
- ・総合分析 ～10日から2週間程度
- ・堆肥分析 ～1週間から10日程度（堆肥分析の受付期間は7月から12月のみになります）

**分析手数料の改正は、
令和2年4月1日受付分からです！**

お問い合わせ・ご質問等は下記までお気軽にどうぞ！！

名寄市農業振興センター 名寄市風連町緑町39-2 TEL01655-3-2258

農業者年金巡回相談会の開催について

令和元年度の農業者年金巡回相談会を下記の通り開催致します。

新制度の農業者年金は、保険料が積立方式の確定拠出型であり、農業者の老後生活の安定と福祉の向上に加え、担い手を確保するという目的を合わせ持っています。

また、加入者自身が保険料を設定出来るなど、経済状況等に応じていつでも見直しが可能となっております。

旧制度の経営移譲年金の説明及び相談についても行いますので、ぜひこの機会に、加入や受給の手続きなど、お気軽にご相談ください。



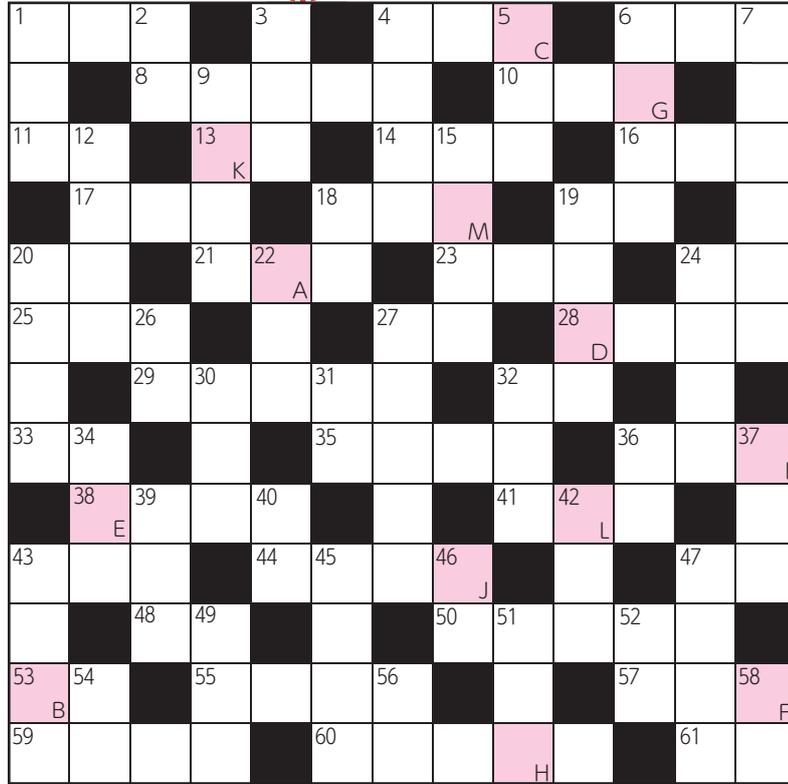
- | | | | |
|----|---|--------------|----------------|
| ○日 | 時 | 令和2年2月17日(月) | 午後1時30分～午後4時 |
| ○場 | 所 | 名寄市役所風連庁舎 3階 | 中会議室 |
| ○主 | 催 | (一社)北海道農業会議 | ・ 北海道農業協同組合中央会 |
| ○共 | 催 | 名寄市農業者年金協議会 | ・ 名寄市農業委員会 |
| | | 道北なよろ農業協同組合 | |

※農業者年金についての相談を希望される方は、事前に農業委員会事務局までご連絡ください。

《 お問い合わせ先 》

名寄市農業委員会 TEL (01655) **3-2511**
 道北なよろ農業協同組合(総務課) TEL (01655) **3-2521**

縁は **異**なもの **味**なもの…の **クロス**



ひよんなことから知り合って、振り返ってみれば一生の付き合いに……なんてことも、ないとは限りません。

縁を大切にしながらクロスを解き、A～Mをつないで答えてね。

正解者の中から抽選で5名様に「商品券」をプレゼント!!

解答は、本誌に添付されたハガキに記入して送付して下さい！
(FAXでも受付しております)
01655-3-4037

【応募締め切り・発表】

令和2年1月31日(当日消印有効)
当選者は次号でお知らせします。

多数のご応募お待ちしております！



回答欄

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

クロスワードを解きA～Kをつないだ言葉を答えて下さい。

マガジン・マガジン「クロスワードメイト」より

タテのカギ

- 1 「縁」と書いてこう読むことも
- 2 国会の○○堂
- 3 道路修復の作業
- 4 宿命的な関係。○○
- 5 ○○の対決。
- 6 似て非なるまがいもの
- 7 日本の国旗の呼び名
- 8 弓矢を当てて男女の縁を結ぶ子どもの神さま
- 9 無理な入浴でのぼせたりすること
- 10 縁から生まれる「機会」
- 11 和風ロブスター
- 12 ○○は急げ
- 13 信号。合図
- 14 袖振り合うも何の縁?
- 15 水は液体、氷は?
- 16 クマが春までおやすみ
- 17 耳に念仏
- 18 応募した会社に「また、ご縁がありましたら」と言われたら
- 19 いさかい
- 20 庭でむしり取る
- 21 パートナーはトナカイ

- 32 この切れ目が縁の切れ目
- 33 縁もゆかりもない赤の○○○
- 34 「縁切り」とつく所もある仏閣
- 35 バーで傾ける容器
- 36 イスに腰かけて測定する
- 37 沖縄県の県庁所在地
- 38 出会いとは逆に、縁が切れたときに訪れる
- 39 チョコを塗った細長いシュークリーム
- 40 魚介類などを甘辛く煮しめた食品
- 41 ↑海
- 42 血族のすべて、親類
- 43 ○○○○
- 44 縁のないこと。我々とは○○○の出来事
- 45 運命。人のご縁は神の○○○?
- 46 「環境保護」の略語
- 47 縁がある男女に芽生えて結婚する
- 48 出かけるときにかける
- 49 58
- 50 56
- 51 54
- 52 52
- 53 51
- 54 49
- 55 47
- 56 46
- 57 45
- 58 43
- 59 42
- 60 40
- 61 39
- 62 37
- 63 36
- 64 34



ヨロのカギ

- 1 吉凶の迷信にとらわれてかつぐもの
- 4 縁結びの神様として名高い、〇〇〇〇大社
- 6 いい香りの建築材
- 8 傾くと倒れる
- 10 並べてパタパタ倒す
- 11 ↑↓公地
- 13 線は異なるもの〇〇なもの
- 14 睡眠中にスースーたてる
- 15 携帯電話をに〇〇〇〇モードに設定する
- 17 貴人の屋敷
- 18 〇〇〇〇での縁は現世、来世へと引き継がれる
- 19 お椀ですするスープ
- 20 塩焼きにしてレモンを絞る焼肉のメニュー
- 21 縁が切れた夫婦の末路
- 23 ハム、スクランブル
- 24 凹レンズ↑〇〇〇〇レンズ
- 25 不快〇〇〇〇80%
- 27 完璧じゃなく書類に〇〇〇〇がある
- 28 人と人の縁をつないで結婚の橋渡しをする人
- 29 ↑↓勝ち戦
- 32 人間に近い動物
- 33 〇〇〇〇は世につれ世は〇〇〇〇につれ
- 25 〇〇〇〇箱に5円玉を入れて、「この縁がありますように」と願う

高慢な妖怪？
例えばカレイの煮付け米などを入れるワラなどを編んだ袋

43 つて。〇〇〇〇採用
44 新年初めてのあきないMより小さいサイズ

50 〇〇〇〇を言わせない
53 切ろうとしても断ち切れない縁生焼きのステーク

57 相場で円の価値が上昇
59 〇〇〇〇リングス作の小説『〇〇〇〇物語』

60 四字熟語「〇〇〇〇奇縁」
61 おにぎり
瓦で覆う場所

前回のパズルの答え プレゼント当選者

「ためないことがいちばん」
正解者の中から抽選で次ぎの5名の方に商品券を送ります。
(敬称略)

- ・白田 満江 (風連)
- ・今田 埜華 (名寄)
- ・加藤 央美 (名寄)
- ・越 孝則 (智恵文)
- ・鷺田 蓮仁 (智恵文)

声の広場

◎毎年の事ですが、我家ではスイートコーンの収穫時にまずは、爆竹から始まります。野生動物がいるのかなと、不安です。もし遭遇したらどう対応する？「絶対大声が出るかも」とか「すぐ走って逃げる」とかパニックになりかねません。今の所そんな経験はありませんが神経をピリピリさせながらの我家の農作業です。
(風連 山本卓幸)

☆アライグマのスイートコーン被害被害は年々増加しています。農協としても対策は行っているのですが、農業者様方の協力が不可欠です。アライグマが出産前の今、捕獲を行えると収穫時期の被害を大きく削減できます。ご協力よろしくお願ひします。
◎かた降りのかた天気で水田が柔らかく大変でした。でも、今は機械がよくなっているので刈れるものですね。今年から孫と一緒に仕事が出来て幸せです。健康第一、冬はパズル・塗り絵・頭の体操に励んでいます。
(風連 泊り百合子)

☆お孫さんとの幸せな時間を長く続けるためにも、健康には十分にお気を付け下さい。今回のフロスワードは前回よりマスが多くなっていますので、お楽しみください。
◎私は水稲農家ですが、十代の頃には、馬による耕起・代かき・手作業での田植え・稲刈り・架かけし乾燥した稲を納屋へ運び、脱穀し麻袋に入れ出荷していました。今では、耕作面積も増え、田植え機・コンバイン・ボートやヘリによる農薬散布など身

体の負担は軽減されました。反面、作業機代や作業委託料が増え、収入も増えたが支出も大きくなっています。米の消費量も年々減少している中、IT・ICTを活用したスマート農業の急速に拡大し、目まぐるしい変化についていけない昨今であります。どうなっていくのでしょうか。
(風連 遊佐俊充)

☆機械化が進み作業効率は格段に上がっています。名寄地域ICT農業研究会ではスマート農業の拡大や、農作業負担の軽減、高付加価値化など多くの人が利用できる環境整備を行っています。
◎表紙に、元下多寄小學校の新田あつき君が載っていて、びっくり！相変わらず元気で何よりです。そう言えばこの時期は、収穫の時期。学校にJAの人たち来てくれて、餅の品種の食べ比べをしたなあ、いろんな種類があつていろんな使い方が出来るなと感心した記憶があります。
(名寄 溝口裕美)

☆未来を担う子供たちに農業の楽しさや苦労、食の大切さを知ってもらおうと活動しています。今後、もち米の種類や使い方など情報発信していきたいと考えています。
◎これからの季節は、牛たちにはとても大変な時期、寒さで子牛はすぐ弱つてしまふし、しばれて水が凍つてみたり、トラクターが動かなくて餌が与えられなくなったり。春が待ち遠しいばかりです。
(智恵文 尾関幸子)

☆寒さは人にも牛にも大変なものです。ね、温かい春を迎えるためにも、安全には十分に配慮して頂き冬季作業を宜しくお願ひします。

年末年始の業務について

年末年始期間中の業務を下記の通り行いますので、ご利用いただきますようご案内申し上げます。

		12月31日 (火)	1月1日 (水)	1月2日 (木)	1月3日 (金)	1月4日 (土)	1月5日 (日)	1月6日 (月)	1月7日 (火)
風連本所	金融共済	休業	休業	休業	休業	休業	休業	8:45~ 16:00	平常 通 り 営 業
	(ATM)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	(8:45~ 17:00)	
	スタンド	7:00~ 18:00	休業	8:00~ 18:00	8:00~ 18:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00	
	(ピット)	(8:30~ 12:00)		休業	休業	(8:30~ 17:30)	休業	(8:30~ 17:30)	
	生産資材	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
	一般業務・ 農機車輛	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
名寄支所	金融共済	休業	休業	休業	休業	休業	休業	8:45 ~16:00	
	(ATM)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	(8:45~ 17:00)	
	スタンド	7:00~ 18:00	休業	8:00~ 18:00	8:00~ 18:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00	7:00~ 19:00	
	(ピット)	(8:30~ 12:00)		休業	休業	(8:30~ 17:30)	休業	(8:30~ 17:30)	
生産資材	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業		
智恵文支所	金融共済	休業	休業	休業	休業	休業	休業	8:45~ 16:00	
	(ATM)	休業	休業	休業	休業	休業	休業	(8:45~ 17:00)	
	スタンド	休業	休業	休業	休業	8:45~ 12:00	休業	休業	
	生産資材 農機車輛	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	
営農センター	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業		

※ 12月31日(火)から1月5日(日)までの交通事故の対応については、JA共済事故受付センター(フリーダイヤル0120-258931)またはJA道北なよろ事故担当者(090-1646-9938・090-3111-1538)へご連絡下さい。

※ スタンド休業中の連絡先は、風連給油所(01655-3-2209)・名寄給油所(01654-3-6151)へご連絡下さい。(どちらの番号でもご利用いただけます)

スタンド年末キャンペーン 12月26日～12月31日

店頭で10ℓ以上給油されたお客様に切り餅(350g)をプレゼント致します。ご賞味下さい。